

平成二十六年入学試験問題（前期日程）

国語

教育学部 学校教育教員養成課程

小学校教育コース 教育実践学専修 を受験する者は、☐一、☐二、☐三 について解答しなさい。

小・中学校教科教育コース 国語教育専修 および 特別支援教育コース 特別支援教育専修 を受験する者は、☐一、☐二、☐四、☐五 について解答しなさい。

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、解答時間は、一〇〇分である。
- 四、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

一

次の文章は、吉村昭の小説『陸軍二等兵比嘉真一』の冒頭部分である。よく読んで、以下の各問に答えなさい。(三〇点)

※非公開

※非公開

※非公開

(吉村昭、『陸軍二等兵比嘉真一』、一九八二年、筑摩書房、三〇八ページ、抜粋)

問一 波線部 a と e の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

a 轟音

b 絶叫

c 鳴咽

d 掘削

e 唯一

問二 傍線部①②の本文中における意味として、最も適切なものを次の各群の A ～ オのうちから、それぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 間断ない	ア	途切れ途切れの
	イ	規則的な間隔で
② 戦慄	ア	身震いするほどの恐ろしさ
	イ	耐えられない緊張
	ウ	絶え間ない
	エ	予測不可能な
	ウ	激しい驚き
	エ	突然の緊張
	オ	時間を断つような
	オ	忘れられない恐ろしさ

問三 傍線部 A 二年生、二年生の生徒たちは、声をあげて泣いていた」とあるが、なぜか。その理由を説明しなさい。

問四 傍線部 B 「かれは、ひそかな優越感が胸の底から湧いてきているのを意識していた」とあるが、そのときの「かれ」の心情を説明しなさい。

問五 傍線部 C 「かれらは下級生たちの群に駆け寄ると、肩をたたき声をかける」とあるが、そのときの「かれら」の心情を説明しなさい。

問六 傍線部 D 「敵軍上陸も近いというのに型通りの行事をおこなうことが、真一には無意味なことに思えた」とあるが、そのときの「真一」の心情を説明しなさい。

二

次の文章は、五木寛之の『選ぶ力』の一部分である。よく読んで、以下の各問に答えなさい。(三〇点)

※非公開

※非公開

※非公開

(五木寛之、『選ぶ力』、二〇二二年、文藝春秋、三五～四二ページ、抜粋・一部改変)

問一 波線部 a↘e のことばを漢字で表記しなさい。

a なが(め)

b かねつ

c かんきゅう

d ていねい

e きじゅん

問二 空欄(A)に入る適切なことばを次の中から選びなさい。

ア ただし

イ しかし

ウ また

エ さて

問三 空欄(B)に入る適切なことばを次の中から選びなさい。

ア もちろん

イ やつと

ウ 意外と

エ どうせ

問四 傍線部①「オートマチックが、私たちの一つの生活様式となっている」とあるが、マニュアル・シフトの生活様式とどのように異なるのか、具体的に説明しなさい。

問五 傍線部②「光陰は矢の如し、などという言葉も、最近ではほとんど死語となってしまった」について次の各問に答えなさい。

(1) 「光陰は矢の如し」とほぼ同じ意味で用いられているものはどれか。次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 後悔先に立たず イ 歳月人を待たず ウ 葉をかいて根を絶つ エ 玉磨かざれば光なし

(2) 「ほとんど死語となってしまった」とあるが、なぜ死語となっているのか、本文の主旨に従って説明しなさい。

(三) は、学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教育実践学専修 の選択問題)

三

次の文章は、ドイツの教育学者であるフレーベルの著書『人間の教育』から抜粋したものである。フレーベルは、教育について「積極的、命令的、規定的、干渉的」であってはならず、「受動的であるべき」と主張している。フレーベルの述べる「受動的」な教育とはどのようなものか。傍線部の例えを教育の具体的な場面に即して説明しながら、この問いに答えなさい。その上でフレーベルの教育観について、あなたの考えを述べなさい。ただし、四〇〇字以上、六〇〇字以内で解答すること。(四〇点)

※非公開

※非
公開

(フレイベル著・荒井武訳、『人間の教育 上』、一九六四年、岩波書店、一九〇二ページ、抜粋・一部改変)

(注) 園丁——庭師。植木屋。

剪定——果樹、茶、庭木などの樹木の枝の一部を切り取ること。

(四・五) は、学校教育教員養成課程 小・中学校教科教育コース 国語教育専修および特別支援教育コース 特別支援教育専修 の選択問題)

四 次の古文は鎌倉時代初期に書かれた日記文学『たまきはる』の一節である。作者は体調がすぐれず、敬愛していた建春門院(平滋子)の死に目にあうことができなかったが、その死の翌々日に院の邸に出向いた。よく読んで、以下の各問に答えなさい。(二五点)

※非公開

(三角洋一校注、新日本古典文学大系50』とはすがたり たまきはる』、一九九四年、岩波書店、二九五～二九六ページ、抜粋・一部改変)

(注) 1 人々出だし立てしかば——作者の家族が、それまで止めていた作者の出仕をようやく許したことをいう。

2 折節なきその匂ひなど失ひて——体調不良だった作者は身体によいとニンニクを食していた。その臭いがようやく消えたのである。

3 常陸(ひたち)——作者とともに建春門院に仕えていた女房。

4 御手のままな——「建春門院さま(自身)が削いでくださったままの毛先ですね」の意。

問一 波線部 a↘d「に」の文法的な説明として適切なものを、次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 格助詞「に」

イ 接続助詞「に」

ウ 断定の助動詞「なり」の連用形

エ 完了の助動詞「ぬ」の連用形

オ ナリ活用形容動詞の連用形の活用語尾

問二 空欄（A）に形容詞「悲し」を、空欄（B）に形容詞「あいなし」を、それぞれ適切に活用させて入れなさい。

問三 傍線部①「恥づかしければ」・③「え堪ふまじきけしきなり」を、それぞれ現代語訳しなさい。

問四 傍線部②「女郎花のうとましき」と作者が感じた理由を、簡潔に説明しなさい。

問五 傍線部④「幼くより……」について、必要な主語を補いながら、全文を現代語訳しなさい。

問六 問題文『たまきはる』の作者である健御前の弟は、『新古今和歌集』の編纂や『小倉百人一首』の選定などで知られる鎌倉時代初期の著名な歌人である。その歌人の名を、漢字で答えなさい。

五

次の文章は、朱子『中庸章句』第六章の本文とそれに対する注釈である。問題文と注をよく読んで、以下の各問に答えなさい。なお、旧字体は常用漢字体に改め、設問の都合上、返り点や送り仮名、それに注釈の字句を部分的に省略してある。(二五点)

※非公開

(注) 子——孔子を指す。

舜——孔子が尊敬する古の聖人。
(朱熹撰、『朱子全書』第六冊、二〇〇二年、上海古籍出版社・安徽教育出版社、三五ページ、抜粋・一部改変)

問一 傍線部①「隠_レ悪而揚_レ善」はどのようなことを意味しているか。《注釈》の解釈に従って説明しなさい。

問二 傍線部②「自」・③「諸」はそれぞれどのように読むか。次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | |
|-------|--------|---------|---------|--------|-------|
| ② 「自」 | ア もとより | イ おのづから | ウ じ | エ みづから | オ よりて |
| ③ 「諸」 | ア これを | イ これに | ウ もろもろの | エ しよ | オ ここに |

問三 傍線部④「遺善」の「遺」に最も近い意味の「遺」を含むのはどれか。次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| ア 遺 風 | イ 遺 言 | ウ 遺 棄 | エ 遺 訓 | オ 遺 漏 |
|-------|-------|-------|-------|-------|

問四 傍線部⑤「人孰不_レ樂_ニ告以_レ善哉」を全文ひらがなで書き下し文にしなさい。

問五 《注釈》において説明されていることと一致しないのはどれか。次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- | | |
|---|-----------------------------------|
| ア | 舜は人々から寄せられる提言に対して公明正大な態度を示した。 |
| イ | 舜は極論を排除して穏当な政策を実行したので、正しい道が行なわれた。 |
| ウ | 舜は卑近な言葉でも退けずにそこに含まれる良い点を察知した。 |
| エ | 舜は何事においても率先垂範したので、人々は自然に感化を受けた。 |

国語 解答用紙 (前期日程)

小学校教育コース 教育実践学専修

(注意 この解答用紙は表裏二ページになっている。)

国語	受験番号
得点	

一

問一	a	ごうおん	b	ぜつきよう	c	おえつ	d	くつさく	e	ゆいいつ
問二	①	ウ	②	ア						

問三 先輩や志願した他の同級生たちと同じように、自分たちも戦闘要員として参加したいのに、それが出来そうにないから。

問四 かれの体は小柄で、下級生の中にはかれよりも発育の良い少年が多くいて、日頃はひけ目を感じていたが、戦闘要員としてかれが選ばれ、下級生は選ばれなかったことで、はっきりと差をつけてもらったことを小気味よく思っている。

問五 かれらは、戦闘要員として参加出来ない下級生にも、一中健児として、それぞれの場所で、死ぬ覚悟を持って堂々と戦えと、励ましの言葉をかけてあげたいと思っている。

問六 真一たち学徒隊は、敵が上陸したら死ぬ覚悟で戦いたいと思っている。死ぬ覚悟をしている真一には、卒業証書を受け取る卒業式は無意味だと思っている。

二

問一	a	眺 (め)	b	過熱	c	緩急	d	丁寧	e	基準
問二	A	エ								
問三	B	ア								

問四 オートマチックな生活様式とは、日常のあらゆる選択の際、特に深く考えることもなく、自然に反射的に対応し、習慣的に行動する楽な生活様式である。これに対し、マニュアルシフトな生活様式とは、あらゆる選択の一つ一つを検証しながら、意識的に人生を構築していく生活様式である。

問五	(1)	イ	
	(2)		オートマチックな選択方法で人生を送っている現代では、選択で悩み、過ぎた人生を悔恨の気持ちで捉えることが少なくなっただから。

This image shows a full page of blank graph paper. The grid consists of small squares formed by thin, light gray lines. There are approximately 20 columns and 20 rows of squares across the page. A thicker vertical line runs down the left side, creating a margin. The paper is otherwise completely empty of any markings or text.

600 字

国語

解 答 用 紙 (前期日程)

小・中学校教科教育コース 国語教育専修
特別支援教育コース 特別支援教育専修

(注意 この解答用紙は表裏二ページになっている。)

国	語
得	点

受 験 番 号

一

問一	a
問二	①
ウ	②
ア	

ごうおん

ぜつきよう

おえつ

くつさく

e

ゆいいつ

問三 先輩や志願した他の同級生たちと同じように、自分たちも戦闘要員として参加したいのに、それが出来そうにないから。

問四 かれの体は小柄で、下級生の中にはかれよりも発育の良い少年が多くいて、日頃はひけ目を感じていたが、戦闘要員としてかれが選ばれ、下級生は選ばれなかったことで、はつきりと差をつけてもらったことを小気味よく思っている。

問五 かれらは、戦闘要員として参加出来ない下級生にも、一中健児として、それぞれの場所で、死ぬ覚悟を持って堂々と戦えと、励ましの言葉をかけてあげたいと思っている。

問六 真一たち学徒隊は、敵が上陸したら死ぬ覚悟で戦いたいと思っている。死ぬ覚悟をしている真一には、卒業証書を受け取る卒業式は無意味だと思っている。

二

問一	a
問二	A
問三	B
ア	エ

眺 (め)

b 過熱

c

緩急

d

丁寧

e

基準

問四 オートマッチクな生活様式とは、日常のあらゆる選択の際、特に深く考えることもなく、自然に反射的に対応し、習慣的に行動する楽な生活様式である。これに対し、マニュアルシフトな生活様式とは、あらゆる選択の一つ一つを検証しながら、意識的に人生を構築していく生活様式である。

問五	(1)
(2)	イ

オートマッチクな選択方法で人生を送っている現代では、選択で悩み、過ぎた人生を悔恨の気持ちで捉えることが少なくなっているから。

四

問一	a	ア	b	エ	c	ウ	d	オ
問二	A	悲しき	B	あいなけれ				
問三	①	気がひけるので						
	③	こらえることができそうにない様子である						
問四	《解答例》 大切な人（建春門院）が亡くなった秋だというのに、その悲しみも知らずに女郎花は存分に枝葉を広げて咲き誇っているから。							
問五	《解答例》 わたしは幼いときからお仕えしていたので、髪を切るのに都合よい日には、建春門院さまは必ずわたしの髪を削いでくださる。							
問六	藤原定家							

五

問一	人々からの提言の中、問題があるものについては表に出さず、優れたものについては公表すること。							
問二	②	エ	③	ア				
問三	オ							
問四	ひとたれかつぐるにぜんをもつてするをたのしまざらんや。							
問五	エ							